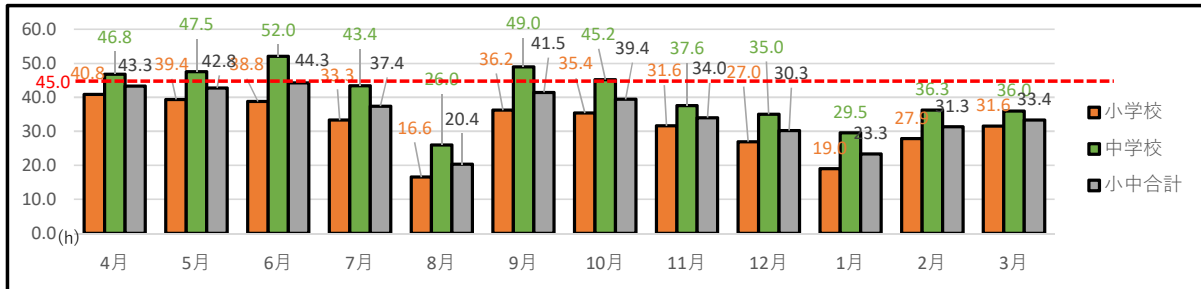


# 令和5年度(2023年度) 北広島市立学校の教育職員に係る時間外在校等時間の状況について

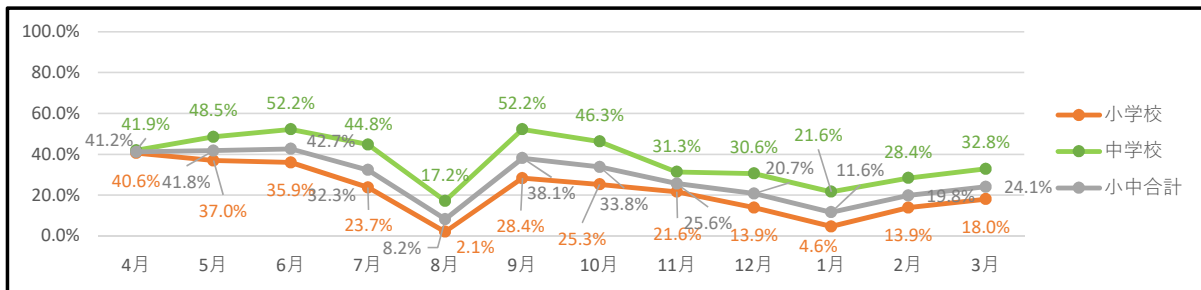
- 期間 : 令和5年(2023年)4月～令和6年(2024年)3月
- 対象校 : 北広島市立学校(小学校9校、中学校7校)
- 対象職員 : 教育職員(校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭)  
※ 令和5年4月時点で在籍していた者を対象としている。(フルタイムの職員のみ)
- ※ 市教委では「北広島市立学校における働き方改革推進計画」において、教育職員の時間外在校等時間の目標を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内としている。

## 1 月別の時間外在校等時間の推移

### (1) 教育職員の時間外在校等時間(一人当たりの平均値)



### 【月45時間を超過した職員の割合】



## 2 年間の時間外在校等時間の状況

学校種	教育職員数	時間外在校等時間別割合			全教育職員平均 (月平均)
		360時間以内	360時間超過		
		月平均30時間以内	月平均45時間以内	月平均45時間超過	
小学校(9校)	194名	92名 (47.4%)	65名 (33.5%)	37名 (19.1%)	377.7時間 (31.5時間)
中学校(7校)	134名	50名 (37.3%)	33名 (24.6%)	51名 (38.1%)	484.3時間 (40.4時間)
小中合計(16校)	328名	142名 (43.3%)	98名 (29.9%)	88名 (26.8%)	421.4時間 (35.1時間)

## 3 調査結果を踏まえた課題と今後の取組について

○「1 月別の時間外在校等時間の推移」について、(1)の「一人当たりの平均値」では、小学校及び小中合計においては年間を通して目標である1か月45時間を下回る結果となった。しかし、中学校では4～6月及び9～10月において1か月45時間を上回る結果であった。また、年間で360時間を超過した教育職員数は、全体で186名(56.7%)であった。

○前年度と比較し、「年間360時間を超過した教育職員の割合」及び「時間外在校等時間年間平均値」はともに減少している。  
 「年間360時間を超過した教育職員の割合」: 令和4年度 58.0%→令和5年度 56.7%  
 「時間外在校等時間年間平均値」: 令和4年度 36.3時間→令和5年度 35.1時間

○全体としては、職員で構成するコアチームの活動や業務の改善、精選の成果がみられ、時間外在校等時間は減少傾向にある。しかし、新年度の4～6月や学芸会・学校祭のある9～10月は、他の月と比較して時間外在校等時間が増加する傾向にあり、中学校においては月45時間を超過している状況である。

○働き方改革の必要性を教育職員が理解し、教育職員の日々の生活の質や教職人生を豊かにできるよう、新たに作成される働き方改革推進計画(第3期)に基づいて学校をサポートし、教育職員の勤務時間の縮減に向け、引き続き取組を進めていく。